

目 次

『令和の神輿 誕生物語』によせて	星 和 彦
1章 令和の神輿—榛名神社にて (文：石川)	1
1-1 神輿の新調	1
1-2 天然乾燥のヒノキ	4
1-3 作業の工程	8
1-4 冬の寒い作業場で	10
2章 宮神輿の意匠と構造 (文：石川)	13
2-1 神輿の構成—有機体としての	13
2-2 総合芸術としての神輿	14
2-3 神輿の様式的特徴	16
2-3-1 支持する箱台輪の意匠—大地を堅固に担ぐ	17
2-3-2 斗拱の組物と堂の意匠—木を緻密に組む	18
2-3-3 飛翔する屋根の意匠—威厳を華麗に彩る	20
2-4 図解 榛名神社の宮神輿 (作画：木暮)	24
3章 宮神輿の魂—宮大工の技と知恵 (文：平柳)	46
3-1 平成から令和へ	46

3-2	宮大工への道	47
3-3	宮大工の仕事	49
3-4	宮大工の道具と技	52
3-4-1	大工の道具	52
3-4-2	道具の手入れ	55
3-4-3	宮大工の技と知恵	56
3-4-4	技の継承	58
4章	宮神輿の精神—祭りに託すこと (文：石川)	59
4-1	沼田祇園祭「おぎょん」	59
4-2	榛名大神の榛名神社	62
4-3	牛頭天王の須賀神社	64
4-4	神璽と「無」としての空間	66
	おわりに	70

参考文献、写真出典